５／１５（木）の行事

報道発表資料の配付日時　　４月１５日（火）１０時００分

発表項目（行事名）	令和７年北海道森づくり研究成果発表会の開催について
概要	道総研森林研究本部（林業試験場・林産試験場）では、北海道水産林務部との共催で、森林整備や木材利用に関する知識を深め技術の向上を図ることを目的に「北海道森づくり研究成果発表会」を開催します。 記 １　日　時 令和７年(2025 年) ５月 15 日(木)　10 時 00 分～16 時 20 分 ２　場　所 北海道立道民活動センターかでる２・７(札幌市中央区北２条西７丁目) ３　内　容 ・　口　頭　発　表：15 課題　　会場：かでるホール ・　ポスター発表：36 課題　　会場：１階展示ホール （ポスター発表者が内容を説明するコアタイムを設定する予定です。） ４　参加方法等 ・　事前申込みに御協力をお願いします。(当日申込みも可) 事前申込期間は 4 月 15 日(火)～5 月 12 日(月) 参加申込みフォーム 参加申込みフォーム URL：https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/event/R7.html ・　参加費は無料です。 ・　当日１階展示ホールにて入場受付を行います。 ・　受付の際、名刺を御提供いただけますとスムーズに入場できます。 ５　その他 本発表会のチラシは道総研森林研究本部のホームページからも御覧いただけます。 詳細は、道総研森林研究本部の担当(連絡先)へお問い合わせ願います。
参考	道総研森林研究ホームページＵＲＬ https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/event.R7.html

報道（取材）に当たってのお願い	１階展示ホールのポスター、かでるホールのスクリーンに投影される資料の撮影は御遠慮願います。	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク	空知道政記者クラブ、上川道政記者クラブ

担当（連絡先）	地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 森林研究本部 企画調整部　普及グループ（担当者：阿部） ＴＥＬ　０１２６－６３－４１６４　　内線２５４

道総研

令和７年 北海道森づくり 研究成果発表会

令和６年度までに道総研森林研究本部や林業関係者が研究開発した主な研究成果、地域での技術の普及や活動事例などを発表します。

日　時

令和７年５月１５日(木)　１０：００ ～ １６：２０

場　所

かでる２・７　かでるホール、１階展示ホール
（札幌市中央区北二条西７丁目　道民活動センタービル）

内　容

■ 口 頭 発 表　：15課題 会場：かでるホール　10:00～15:25
■ ポスター発表：36課題 会場：１階展示ホール 10:00～16:20
（ポスター発表者が内容を説明するコアタイムを設定する予定です。）

参加申込み

■ 事前申込みに御協力をお願いします。(当日受付可)
■ 事前申込期間：4月15日(火)～5月12日(月)

（参加申込みフォーム）

申し込みフォーム
URL:https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/event/R7.html

■本発表会は(一社)自然環境技術者教育会(JAFEE)のCPD制度認定講習会です。

※1階ホールのポスター及びかでるホールのスクリーンに投影された資料等の撮影は御遠慮願います。

【お問い合わせ先】
(地独)北海道立総合研究機構 森林研究本部企画調整部 普及グループ
E-mail：forestry@hro.or.jp
TEL：0126-63-4164　FAX：0126-63-4166

森林研究本部

【主催】（地独）北海道立総合研究機構森林研究本部
北海道水産林務部

口頭発表：かでるホール

一般の部	天然更新地の保育試験（54年目の成績）	北海道森林管理局：腰越　玲翔
	造林作業の軽労化に向けて～クリーンラーチコンテナ苗で下刈省略～	北海道森林管理局：鈴木　啓之
	球果を着け始めた「クリーンラーチ採種園」	森林総合研究所：生方　正俊
	胆振地区の林業従事者による普及啓発の取組について	胆振林業青年部：丹羽　智大
道総研森林研究本部の部	◎森林資源循環利用のために～リレー発表～	
	カラマツに圧密技術を応用した高硬度材料の開発　その１　圧密材料の基礎物性	林産試験場：古田　直之
	カラマツに圧密技術を応用した高硬度材料の開発　その２　圧密材料の接合性能	北海道大学：高梨　隆也
	カラマツに圧密技術を応用した高硬度材料の開発　その３　圧密材料の加工性と実用性	株式会社山上木工：山上　裕一朗
	◎森林資源の循環利用のために～林業技術～	
	グイマツ雑種F1実生苗と挿し木苗の若齢期における成長比較	森林研究本部：今　博計
	変動する将来の気候条件を踏まえたカラマツとクリーンラーチの地位指数の予測	林業試験場：滝谷　美香
	変動する将来の気候条件を踏まえたトドマツとカラマツ類人工林における炭素吸収量の増加効果	林業試験場：津田　高明
	トドマツ人工林における広葉樹の生育実態	林業試験場：大野　泰之
	◎森林資源の循環利用のために～木材利用技術～	
	広葉樹内装材生産におけるAIを活用した選別作業効率化への取組	林産試験場：北橋　善範
	準不燃トドマツの製品化のためのとりくみ	林産試験場：河原崎　政行
	◎森の役割と森からの恵み	
	木質粗飼料の含有成分が牛の反芻胃微生物に与える好影響	林産試験場：檜山　亮
	北海道の防風林管理が担う生物多様性保全と今後の課題	林業試験場：速水　将人

ポスター発表：１階 展示ホール

一般の部	天然更新地の保育試験（54年目の成績）	北海道森林管理局：腰越　玲翔
	造林作業の軽労化に向けて～クリーンラーチコンテナ苗で下刈省略～	北海道森林管理局：鈴木　啓之
	球果を着け始めた「クリーンラーチ採種園」	森林総合研究所：生方　正俊
	胆振地区の林業従事者による普及啓発の取組について	胆振林業青年部：丹羽　智大
	多様な気候・季節条件下で遷移初期・天然林性鳥類の生息地を回復させるための人工林管理	森林総合研究所：河村　和洋
	新たなグイマツ雑種F1品種の開発に向けた取組	森林総合研究所：福田　陽子
道総研森林研究本部の部	グイマツ雑種F1実生苗と挿し木苗の若齢期における成長比較	森林研究本部：今　博計
	変動する将来の気候条件を踏まえたトドマツ苗木の産地選択のあり方を考える	林業試験場：石塚　航
	変動する将来の気候条件を踏まえたカラマツとクリーンラーチの地位指数の予測	林業試験場：滝谷　美香
	変動する将来の気候条件を踏まえたトドマツとカラマツ類人工林における炭素吸収量の増加効果	林業試験場：津田　高明
	道産建築材の価格競争力を高める事業条件の解明と中間土場を活用した輸送費の削減効果	林産試験場：酒井　明香
	トドマツ人工林における広葉樹の生育実態	林業試験場：大野　泰之
	北海道産広葉樹の材質について～ハルニレ・セン・ウダイカンバ～	林産試験場：大崎　久司
	植栽木周辺の雑草木がトドマツおよびカラマツ類の生残と成長に与える影響：２シーズンの結果	林業試験場：角田　悠生
	ナラ枯れ被害木の伐倒くん蒸処理効果	林業試験場：大井　和佐
	殺そ剤を使わない新たな野ネズミの防除対策の検討－誘引餌の効果と捕殺器の設置方法について－	林業試験場：南野　一博
	高品質なトドマツ心去り正角材の生産に向けて	林産試験場：土橋　英亮
	北海道大学研究林トドマツを用いた新規断面製材に関する研究　その１　丸太および製材の材質評価	林産試験場：上田　麟太郎
	北海道大学研究林トドマツを用いた新規断面製材に関する研究　その２　乾燥技術の検討	林産試験場：土生川　友香
	北海道大学研究林トドマツを用いた新規断面製材に関する研究　その３　トラス接合部および実大トラスの性能評価	林産試験場：戸田　正彦
	カラマツ人工林材の各種強度性能	林産試験場：村上　了
	カラマツに圧密技術を応用した高硬度材料の開発　その１　圧密材料の基礎物性	林産試験場：古田　直之
	カラマツに圧密技術を応用した高硬度材料の開発　その２　圧密材料の接合性能	北海道大学：高梨　隆也
	カラマツに圧密技術を応用した高硬度材料の開発　その３　圧密材料の加工性と実用性	株式会社山上木工：山上　裕一朗
	単板の超音波伝播速度を用いたカラマツLVLの強度性能の推定	林産試験場：古井戸　宥樹
	樹皮成分を用いた合板用接着剤の開発	林産試験場：宮﨑　淳子
	広葉樹内装材生産におけるAIを活用した選別作業効率化への取組	林産試験場：北橋　善範
	AIを用いたパーティクルボードの開発効率化技術の開発	林産試験場：須賀　雅人
	準不燃トドマツの製品化のためのとりくみ	林産試験場：河原崎　政行
	エクステリア用木材塗料の耐候性評価	林産試験場：伊佐治　信一
	木質バイオマス燃焼灰の活用方法～たい肥化における腐熟促進材として～	林産試験場：西宮　耕栄
	北海道の防風林管理が担う生物多様性保全と今後の課題	林業試験場：速水　将人
	トドマツ人工林では主伐時にどのくらい樹木を残すと水質への影響を緩和できるか	林業試験場：長坂　晶子
	造林用トドマツ苗木からのマツタケ菌根形成苗の作製	林産試験場：宜寿次　盛生
	AIを活用したシイタケ等級判別装置の研究開発	林産試験場：北村　啓
	木質粗飼料の含有成分が牛の反芻胃微生物に与える好影響	林産試験場：檜山　亮

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
道総研
プレスリリース Press Release

令和７年４月 15 日

報道機関各位

令和７年　北海道森づくり研究成果発表会の開催について

北海道立総合研究機構(以下「道総研」)森林研究本部では、北海道水産林務部との共催で、森林整備や木材利用に関する知識を深め技術向上を図ることを目的に「北海道森づくり研究成果発表会」を開催します。

本発表会では、令和６年度までに道総研森林研究本部や林業関係者が研究開発した主な研究成果、地域での技術の普及や活動事例などを発表します。

◎日　時

令和７年５月１５日（木）１０：００～１６：２０

◎場　所

北海道立道民活動センターかでる２．７（住所：札幌市中央区北２条西７丁目）

◎参加費

無料

◎発表内容

口頭発表　　・・・１５課題　会場：かでるホール　１０：００～１５：２５
ポスター発表・・・３６課題　会場：１階展示ホール１０：００～１６：２０

◎参加申込み

資料等の準備のため事前申込みに御協力をお願いします。
（当日申込みも可）
事前申込期間：４月１５日（火）～５月１２日（月）
参加申込みフォーム
URL：https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/koho/event/R7.html

参加申込みフォーム

入場受付は、1階展示ホールにて行います。受付に名刺を御提供いただけますとスムーズに入場できます。

◎報道（取材）に当たってのお願い

1階展示ホールのポスター及びかでるホールのスクリーンに投影された資料等の撮影は御遠慮願います。

◎同時配付先

空知・上川道政記者クラブへ同時配付。

詳しくはこちらへお問い合わせください。
地方独立行政法人　北海道立総合研究機構（道総研）
森林研究本部　企画調整部　普及グループ（担当者：阿部）
電話　0126-63-4164(内 254)　※平日 8:45～17:30 土・日・祝日・年末年始はお休みです。